

高額取引時期 控え防犯訓練

岐阜信用金本店

高額取引が多くなる年末



強盗役の署員に対し、落ち着いて対応する職員＝岐阜市神田町、岐阜信用金庫本店

年始を前に、岐阜信用金庫が岐阜市神田町の本店で防犯訓練を行い、職員24人が強盗が押し入った場合の対応を確認した。

岐阜中署生活安全課の署員が強盗役となり、窓口の職員を包丁で脅して金を出すよう要求。職員は時間を稼ぎながら金を袋に入れたり、非常通報ボタンを押したりして冷静に対応した。

同金庫の光崎修理事本店営業部長は「大きな声であいさつすることで強盗に狙われない店舗にしていく。万が一に備えて日頃から役割を把握することが大切だ」と話した。

(山本貴史)